



大軍拡ストップ



戦争か平和か いま日本は大きな岐路に

軍事費を2倍化し、敵基地攻撃能力を保有する。軍事に軍事で構えることが日本を守る道なのでしょうか？アメリカの意のままに軍拡競争に突き進んでは、平和も生活も壊されてしまいます。

戦争にしないことこそ政治の責任

「一国で自国を守ろうとすれば軍拡という破滅の道だ。多国間で戦争の心配のない平和の枠組みを作ることが自国を守る現実的な道だ」—ASEAN諸国の主張です。ASEAN10か国に、アメリカも、ロシアも、中国も入った「東アジアサミット」をつくり、平和の枠組みづくりをすすめています。日本の進むべき道はここにあります。

平和外交で戦争の心配ないアジアを

軍拡より生活

気候危機、いま止める
ジェンダー平等社会を
賃金・年金上がる国に



衆議院議員
宮本徹



都議会議員
尾崎あや子

しんぶん東大和 発行所：しんぶん東大和社（東大和市奈良橋1-268-1 西川洋一方） ※日本共産党東大和市委員会の見解を紹介します。

たった一度の人生を

父は敗戦を中国で迎えました。12年間抑留され、帰国したのは40歳。夜中にうなされたり、大声をあげたりということが度々あったようです。いまの私の年、64歳で亡くなりました。「たった一度の人生なんだから思い切って生きろ」「他人の目など気にするな」とは、父に度々言われた言葉です。短かった人生で一番輝かしかるべき年代をすべて戦争で奪われた喪失感のようなもの、言葉の裏に、いま感じます。

母の介護で学んだこと

母は9年前、92歳で亡くなり、11年の介護生活が終わりました。認知症が進んでも、目が合うとほっとしたような笑顔を見せてくれたのは救いでした。最後までまっとうに、誠実に生きようとした母の姿は私の人生への最大のエールです。長生きを慶び合える社会、誇りを持って人間らしく生きられる社会をつくりたい—

私の政治家としての原点でもあります。



誰もが大切にされる 東大和を 尾崎りいちのお約束

学校給食の無償化を

「義務教育は無償」と憲法で謳われながら、給食や学用品など保護者負担が重い日本。東大和市でも第2子半額、第3子無料など一部補助ならすぐに実現可能です。



補聴器購入補助の創設を

65歳以上の半数が加齢性難聴。認知症や抑うつ症の素因です。補聴器装着が有効なことは市も認めました。あと一歩です。



多摩で一番高い国保税・ごみ袋代の引き下げを

サラリーマンより2倍も高い国保税—まず1人1万円引下げを。ごみ袋は2割値下げを。

公立保育園廃園・学校統廃合ストップ

少子化を理由に小中学校を減らしたり、唯一の市立保育園をなくすのでなく、教員と保育士を増やして、世界から立ち遅れた子どもの教育環境を改善すべきです。

- 18歳までの医療費は完全無料に
- 危険なオスプレイ訓練の日常化ストップ
- ヘリコプター騒音解消
- 公民館、校庭などの有料化ストップ
- 大雨水害の解消
- ちよこバス改善
- 学校トイレ等に生理用品を
- 市民農園廃止反対
- 農商工予算の倍増
- 障害者施策の拡充

平和に
人間らしく
生きたい

日本共産党東大和市議会議員

尾崎りいち

日本共産党



LINE公式へ登録をお願いします。